

国際財政学会（IIPF）2017年東京大会についての学会の取り組み

はじめに

今期の日本財政学会常任理事会体制における佐藤主光・国際担当常任理事（IIPF理事）が、日本での3回目のIIPF年次大会開催をめざし、2017年IIPF東京開催招致委員長として招致準備を行い、2015年8月のIIPF理事会・総会で、2017年年次大会の東京開催が正式決定した。

過去2回のIIPF日本開催の要点は、以下の通りである。

(1) 東京大会（第37回大会：1981年9月7～11日）の主催者は日本学術会議・日本経済学会連合・日本財政学会の3団体で、日本学術会議の安藤良雄先生が経団連や政府関係への交渉でご尽力下さり開催資金の問題はほとんどなく、会場も経団連会館を利用できた。

(2) 京都大会（第53回大会：1997年8月24～28日）の主催者は日本学術会議・日本財政学会の2団体だが、立命館大学がIIPFの大会プログラムにホストとして明記され名実とも主催者であった。宮本憲一先生と柴田弘文先生が、立命館大学と財政研究者への協力要請をなされ、立命館大学理事長のご支援による多額な寄附を基に、日本財政学会・日本地方財政学会の区別なく日本の財政研究者に広くIIPF入会と寄附をお願いした。京都大会時のIIPFのLOC（Local Organizing Committee：大会実行委員会）は、柴田先生（委員長）・宮本先生（副委員長）・坂野光俊先生（事務局長）・柳ヶ瀬孝三先生（委員）の4名（全員：立命館大学所属）で、会場は京都宝ヶ池プリンスホテル・立命館大学であった。

以上、過去2回のIIPF開催時におけるIIPFのLOC（大会実行委員会）の位置づけは日本財政学会の内部組織ではなく、日本財政学会の中核理事（東京大会時の木村元一先生・大川政三先生、京都大会時の柴田先生・宮本先生・坂野先生）が、日本財政学会とは独立に実行委員会を組織し大会の準備と運営を行った。過去2回の日本開催時に日本財政学会が主催団体になっているのは、日本学術会議などの諸機関との関連や寄附などの関連で、当時の中核理事からの要請で日本財政学会の理事会・総会で承認した。

こうした過去2回のIIPF日本開催時の実態と、2017年開催の日本学術会議主催国際会議の申請期限を過ぎている事実を踏まえ、IIPF2017年東京大会開催の準備について、以下の通り、日本財政学会・日本地方財政学会はIIPFのLOCと協同して対応する。

1. IIPF2017年東京大会の主催について

第73回国際財政学会年次大会組織委員会（IIPFのLOC）・日本財政学会・日本地方財政学会の主催とする。

IIPFのLOCは、日本財政学会・日本地方財政学会とは本来的に別組織で日本財政学会・日本地方財政学会とは独立して委員会メンバーを選任し、大会の準備と運営を円滑に行う役割を担うものである。しかしながら、日本における財政研究者を会員とする日本財政学会・日本地方財政学会の将来を見据えると、財政への多様な研究アプローチをIIPFのLOCメンバー構成に反映させることも重要であるので、

LOC メンバーの具体的な選任については IIPF (の LOC) の専管事項であるが、メンバー構成については理論系アプローチと制度・歴史系アプローチとのバランスをとるように学会側から IIPF の LOC に要請した。

2. 第 73 回国際財政学会年次大会組織委員会 (IIPF の LOC) について

そうした学会側の要請を踏まえ、IIPF の下部組織である IIPF の LOC (佐藤・委員長) が組織したメンバー (6 名) は以下の通りである。

委員長 佐藤主光 (一橋大学)
副委員長 岩本康志 (東京大学)
委員 池上岳彦 (立教大学)
土居丈朗 (慶應義塾大学)
持田信樹 (東京大学)
事務局長 中澤克佳 (東洋大学)

3. 学会主催会議 (案) について

IIPF2017 年東京大会に係る学会主催会議の設置目的は、過去 2 回の IIPF 日本開催時のように、日本の財政研究者が一丸となって 2017 年東京大会が盛会となるよう、日本財政学会・日本地方財政学会が第 73 回国際財政学会年次大会組織委員会 (IIPF の LOC) とともに主催団体として取り組むことにある。当会議の取り組み事項および委員構成 (案) は、以下の通りである。

(1) 具体的な取り組み事項

- ① 会員の IIPF2017 年東京大会への積極的な参加
 - ② 会員の人的ネットワークで海外の親しい財政研究者への参加呼びかけ
 - ③ 会員の各所属大学・機関の国際交流予算を活用した IIPF2017 年東京大会前後の研究会・講演会の企画
 - ④ 会員の人的ネットワークで国内諸企業・諸団体に対する IIPF2017 年東京大会への資金協力 (寄附) や施設サービス提供の依頼
 - ⑤ 会員の自発的な IIPF2017 年東京大会への資金協力 (寄附)
 - ⑥ その他、IIPF2017 年東京大会を盛会にするための会員の情報提供など
- ⇒⇒日本財政学会が科研費 (「平成 28 年度研究成果公開発表 (C)」) 申請をする。

(2) 委員構成

委員長： 横山彰

副委員長： 植田和弘、金子勝

事務局長： 堀場勇夫

委員： 赤井伸郎、井手英策、江川雅司、川瀬光義、北村裕明、後藤和子、田近栄治、中井英雄、
中里透、林宏昭、半谷俊彦、望月正光、森裕之、諸富徹

オブザーバー： 岩本康志 (第 73 回国際財政学会年次大会組織委員会副委員長・募金委員会委員長)

顧問： 柴田弘文、宮本憲一、坂野光俊、八田達夫、神野直彦、油井雄二、井堀利宏